



横須賀市立大塚台小学校学校だより

大塚台の風



校長 山崎 亨

不審者対応避難訓練から・・・

6月10日(水)。先月の教職員による不審者対応研修に続き、今回は子ども達がいる中、不審者役を松本先生が演じ、緊迫した雰囲気の中で訓練が実施されました。訓練終了後は全員がアリーナに集合し、私から以下



のような話を子ども達に伝えました。

「今日の避難訓練は、もし不審者が学校に侵入したとき、危険な目に合わず、全員が安全に素早く避難できるようにするための訓練でした。皆さんの中には、誰かが学

校に入ってきて子どもを襲うようなことは考えられない。そんな危険な人はいない。と思っている人も多いかもしれません。実際、大塚台小学校のみなさんも、今まで一度もそんな事件は起こっていません。でも、だからといって、これから絶対に起こらないとは言えないのです。



今から25年前、大阪の小学校に包丁を持った男が侵入しました。1年生と2年生の子が切られ、8人が亡くなり、その他の子どもや先生も15人が大けがを負いました。皆さんはこの話を聞いて「まさか」と思いますよね。でもそのまさかの時に備えて、どのように自分の命を守るか、日頃から訓練しておくことが必要なんです。地震や



火事と同じです。避難訓練をしていないと、ほとんどの人は、冷静で落ち着いた行動をとれなくなります。慌ててしまいます。

今日の避難したときの態度や行動を振り返ってみてください。点数を付けると何点でしょうか。普通のテストは何点取っても命を失うことはありません。でも、避難訓練は命に関わります。全員が100点でないとダメなんです。一人でもふざけたら0点なんです。練習は本番のように、本番は練習のようにの気持ちでこれからも訓練を続けていきましょう。」

学校が常に安全な場所であり続けられるよう、最悪の事態を想定しながら行動していく必要性を強く感じた日となりました。